

SOO MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL
曾於医師会立病院からのお便り

かけはし

VOL.11

2025年
SPRING

医療を通じて地域に貢献します



- 院長より新年度のご挨拶
- 在宅診療科 開設 **NEW**
- 新任医師紹介 **NEW**
- 大隅会報告
- いろ・ど・り など

令和7年春、新年度のご挨拶



院長 吉留 伸郎

広報誌「かけはし」をご覧ください、誠にありがとうございます。新年度を迎え、心新たに挨拶申し上げます。

厳しかった寒さも急に和らぎ、桜の満開を楽しんだのも束の間、初夏のように汗ばむ日が多くなってきました。皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年の1月、2月は新型コロナ、インフルエンザ等で体調を崩された患者さまが多数入院されました。新型コロナの院内発生も1年ぶりに経験しましたが、監視体制の強化と感染対策の徹底により、通常診療を維持しつつ、無事乗り切ることができました。皆さまのご協力と当院職員の奮闘に深く感謝申し上げます。

現在、世界中のいたるところで、分断や紛争が生じ、怒りや不安が渦巻いています。早く解決してほしいとの願いも虚しく、その糸口はなかなか見つからないようです。せめて、各個人が穏やかな気持ちで過ごすことが大事と思う今日、この頃です。

今年は以前から心配されていた「2025年問題」の年に当たります。戦後のベビーブームで生まれた団塊の世代が後期高齢者になることで医療や介護の需要が急増する問題です。実は曾於医療圏（曾於市、志布志市、大崎町）では「2025年問題」は既に迎えてしまっています。医療においては、その需要のピークは過ぎ、減少に転じています。一方、介護については今がピークであり、介護を必要

とする患者さんの急激な増加と働き手の減少が介護・医療現場に深刻な影響を及ぼしています。当院でも濃厚な介護を要する患者さまが大変多くなり、人手不足と相まって、看護部門の負担が著しく高まっています。予想を遥かに上回るスピードで生じている、これらの変化は高齢者の急増だけではなく、高規格道路の開通に伴う働き手世代の都市部への生活圏移動も一因と考えられます。

少子高齢化の激流の中を日本国全体が押し流されていく状況であり、曾於医療圏はその最前線で身動き取れずにいます。急激な高齢化、人口減少は今までの歴史の中で経験されなかったことであり、解決のためのお手本は存在しません。私たち自身が道を切り開かねばなりません。これまでのやり方に囚われず、新たな視点で解決策を探ることが重要です。今年は再生の象徴と言われる巳（み・へび）の年でもあり、中でも60年に一度の「乙巳（きのとみ）」にあたります。変化と新たな挑戦へのエネルギーが高まる年と言われています。地域を再生するため、いろいろな職種、各医療機関・介護施設・行政機関、そして地域の皆様が連携し、助け合い、補い、そして変革していくことで、この難局は乗り越えられると信じています。

当院は地域医療を守るため、「高齢者救急」と「在宅医療支援」を柱に、今後も日々尽力して参ります。皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

在宅診療科を開設します

曾於医師会立病院では、がん患者さんを対象とした訪問診療や、在宅療養中の病状悪化に対する入院受け入れを随時行っています。令和5年8月には「在宅療養支援病院」の認可も受けました。

これらの活動をさらに充実させるべく、このたび「在宅診療科（院内標榜）」を開設いたします。在宅診療科では在宅療養に関わる相談、案内を行うとともに、住み慣れた場所で笑顔に満ちた生活が送られるよう、訪問診療による生活支援を行って参ります。

ご自宅やご施設で療養をされている患者さんで、定期的な診察（訪問診療）等をご希望の方は、当院の外来受付または地域連携室を通じ、「在宅診療科」へお気軽にご相談ください。

対象となる方
①～④に該当する方

① 当院で診療中
③ 居住地が当院から16km以内

② 病状や付き添いの問題等で通院困難
④ 医師が訪問診療を必要と判断

新任の医師を紹介します!



外科部長

- 名前 大迫 祐作
- 出身 南九州市
- 前任地 指宿医療センター
- 趣味 釣り
- 一言

4月から外科に赴任しました。消化器が専門ですが、地域医療に携わる者として、幅広い分野で皆様に安心な医療を提供できるよう努めます。よろしくお願いいたします。



整形外科部長

- 名前 里中 洋介
- 出身 鹿児島市
- 前任地 寺田病院
- 趣味 料理
- 一言

令和7年度4月より赴任しました里中洋介と申します。不慣れなことも多くご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、何卒宜しくお願いいたします。



整形外科医師

- 名前 澤園 啓明
- 出身 鹿児島市
- 前任地 出水郡医師会 広域医療センター
- 趣味 ゴルフ
- 一言

令和7年度4月より赴任してきました整形外科 澤園啓明と申します。地域の医療に貢献できるようにがんばらせていただきます。よろしくお願いいたします。



ストーマ患者家族会

大隅会

を開催しました。



今回の大隅会は、まずは理学療法士による「ころばん体操」で体をほぐし、転倒予防のための簡単な運動をしました。その後、看護部より災害時に役立つ備えや緊急時の連絡先、避難所での食事等をご紹介、「人生会議（ACP）」についての話もあり、“もしも”に備えて自分の意思を伝えることの大切さを考える機会となりました。また、コンバテックジャパン株式会社様からオストミー製品の紹介があり、製品の特徴や使用方法について情報提供していただきました。

会の後半では、参加者の皆さまからの質問にお答えしながら、日常生



活での困りごとについて意見交換を行いました。ストーマ孔のカット方法を実演し、実際のケアについて学ぶ場面もありました。

ご参加いただいた方からは、「災害時の備えについて改めて考える機会になった。」「ストーマケアの具体的な方法が学べてよかった。」といった声が寄せられました。今後も、ストーマをお持ちの方や支える方々が安心して生活できるよう、役立つ情報をお届けしてきたいと思います。

病院での日々の出来事をご紹介します

いろいろ

日頃の備えが大事！
テント設営訓練



病棟からの出火を
想定した避難訓練
安全な場所へ避難誘導



末吉中央公民館で開催された『がんを知ろう講演会』で吉留院長と新田先生がお話をさせていただきました。

曾於地区感染対策向上加算連携カンファレンスおよび新興感染症を想定した訓練（吐物処理とPPE装着）を行いました。



クリスマス★
サンタクロースから
素敵なプレゼントが
届きました！

鹿児島県地域糖尿
病療養指導士 (KLCDE)
に当院看護師3名が
合格しました！



何でもご相談ください

私のかけはし！



南九州市川辺町

広報誌『かけはし』にちなんで職員イチオシの橋を紹介するこちらのコーナー♪

今回は、4階病棟Yさんが『しのぶはし(偲ぶ橋)』をご紹介！
清らかな万之瀬川に架かる美しい橋で、四季折々の風景と調和し、訪れる人々を魅了します。川辺の豊かな自然を感じながら、穏やかな川の流れを眺めていると、心を癒やしてくれること間違いなし！地元の人々に愛されるこの橋は、地域のシンボルでもあるそうです。

職員募集！



曾於医師会立病院では、現在下記の職種について一緒に働く仲間を募集しています。

- ・医師（内科等）
- ・看護師（准看護師含）
- ・医療ソーシャルワーカー
- ・事務職員
- ・看護助手（ナースエイド）
- ・介護福祉士
- ・管理栄養士
- ・病院給食調理スタッフ

お問い合わせ先 ☎070-7664-8594（曾於医師会中央総務部）
見学も随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

アンケート募集！



広報誌『かけはし』に関するご意見、ご感想をお寄せください。
こちらのQRコードからアンケートの回答が可能です。
お寄せいただいたご意見、ご感想は今後の参考にさせていただきます。



公益社団法人 曾於医師会

曾於医師会立病院

Soo Medical Association Hospital

〒899-8212 鹿児島県曾於市大隅町月野894

☎ 099-482-4888

ホームページ：https://soo-hp.com/

Eメール：sisikai@blue.ocn.ne.jp

